

実習で生産した花 安価で

苗物コーナーには長蛇の列

島原市下折橋町の県立島原農業高（前田達彦校長、389人）でこのほど、生徒が実習で生産した花や農産加工品などを販売する「島農春の市」があり、苗物を品定めする市民らでにぎわった。

「島農春の市」

ペチュニアやコリウスなどの花約10種、ナスやカボチャなど野菜約20種の苗を1本50円からの安値で販売。計約2千本の苗物コーナーには、オープン前から約100人が行列をつくる盛況ぶり。ガトーショコラやパウンドケーキといった加工品も人気を集めた。

生徒の和太鼓演奏や野だて茶会が花を添え、馬やヒツジ、ヤギなどと触れ合えるコーナーに子どもらは大喜びだった。家族4人で訪れた市立第二小5年、柴田莉羽さん(10)は「いろんな種類の花があつて楽しい。買った花の苗を妹と一緒に庭に植えたい」と話した。

(大田裕)



花の苗を品定めする買い物客 —島原農業高